

3 報告事項

(1) 令和6年度セーフティネットあだち実績報告

① 相談件数(延べ件数)

累計

		電話			来所			メール			訪問			計
		男	女	他	男	女	他	男	女	他	男	女	他	
新規	本人	7	4	0	6	1	0	1	0	1	1	0	0	21
	保護者	7	16	0	11	16	0	1	4	0	0	0	0	55
	その他	9	11	1	1	0	0	2	1	0	0	0	0	25
	行政機関	4	6	0	18	7	0	0	0	0	0	0	0	35
	小計	27	37	1	36	24	0	4	5	1	1	0	0	136
継続	本人	36	17	0	17	10	0	1	0	0	18	3	0	102
	保護者	25	52	0	39	51	0	1	3	0	4	10	0	185
	その他	9	12	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	30
	行政機関	4	10	0	5	8	0	0	0	0	0	0	0	27
	小計	74	91	0	65	74	0	2	3	0	22	13	0	344
	合計	101	128	1	101	98	0	6	8	1	23	13	0	480

② 相談者別延べ件数

本人	保護者	兄弟姉妹	親戚	行政機関	民間機関	友人	その他	計
123	240	14	0	62	17	0	24	480

③ 実相談人数累計(年代別・性別)

	男	女	他	実人数
10代	10	12	0	22
20代	20	30	0	50
30代	16	15	0	31
40代	14	14	1	29
50代以上	21	8	0	29
不明	17	30	1	48
計	98	109	2	209

④ 相談内容分類

生活習慣・ 環境改善	就労	進学/通学	社会性 向上	関係機関 への連携	情報共有	その他
254	32	8	88	15	34	50

⑤ 居場所利用者数(延べ人数) 居場所利用登録:24名

	4月			5月			6月			7月		
	男	女	他	男	女	他	男	女	他	男	女	他
10代	2	0	0	5	0	0	0	0	0	3	0	0
20代	6	7	0	9	8	0	11	5	0	13	7	0
30代	10	5	0	9	1	0	10	4	0	17	3	0
40代	3	0	0	4	0	0	6	0	0	6	0	0
50代以上	2	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0
計	23	12	0	27	9	0	29	9	0	42	10	0

	8月			9月			10月			11月		
	男	女	他	男	女	他	男	女	他	男	女	他
10代	3	3	0	0	2	0	0	1	0	0	3	0
20代	12	7	0	8	7	0	9	9	0	8	8	0
30代	13	4	0	14	4	0	15	4	0	14	4	0
40代	4	0	0	4	0	0	5	0	0	6	0	0
50代以上	3	0	0	3	0	0	3	0	0	4	0	0
計	35	14	0	29	13	0	32	14	0	32	15	0

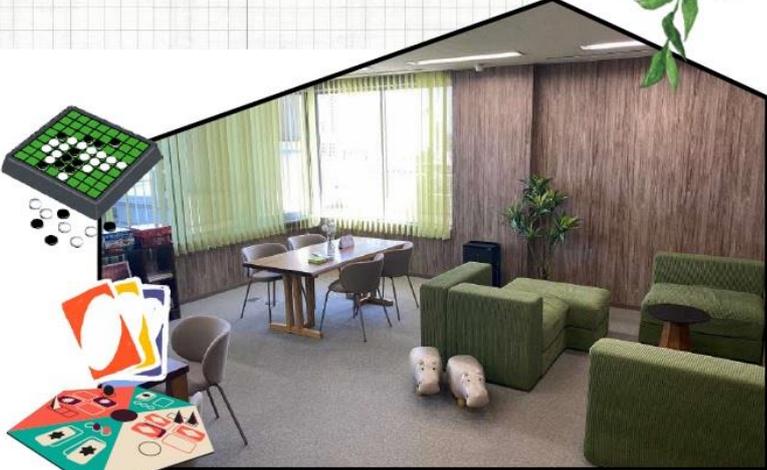
	12月			1月			2月			3月			計
	男	女	他	男	女	他	男	女	他	男	女	他	
10代	1	2	0	2	2	0	2	2	0	0	0	0	33
20代	4	8	0	9	8	0	10	8	0	11	10	0	202
30代	13	4	0	13	4	0	15	2	0	17	2	0	201
40代	4	2	0	3	0	0	4	0	0	5	0	0	56
50代以上	4	0	0	3	0	0	4	0	0	5	0	0	36
計	26	16	0	30	14	0	35	12	0	38	12	0	528

◆居場所事業として、6月以降月1回イベントを実施

6月:ボードゲーム大会	5名参加	11月:ボードゲーム大会	6名参加
7月:納涼ボードゲーム大会	7名参加	12月:クリスマス会	7名参加
8月:ちいさな縁日	9名参加	:女子会(コースター作り)	1名参加
9月:ボードゲーム大会	5名参加	1月:新年会イベント	7名参加
:女子会	2名参加	2月:脳トレイベント	4名参加
10月:ハロウィンイベント	4名参加	3月:春のお散歩	6名参加

(2)セーフティネットあだち「フリースペースの日」実施について

ゆっくり過ごせる
フリースペース



第2・第4 火曜日
午後2時～6時

セーフティ
ネット
あだち

予約不要！ 時間内は入退室自由
見学のみでもOK！
ゆっくり一人でも、皆と一緒に過ごしてもOK
プチイベントも開催

場 所： セーフティネットあだち
足立区千住5-13-5
足立区生涯学習複合施設（学びピア21）7階

ホームページ 

お問い合わせ tel: 03-6807-2762 mail: sn_adachi@kizuki.or.jp

稼働後の状況

- 5月13日(火)から開始(初回は8名が参加)
- これまで8回実施し、延べ47名が参加
- 新規の参加者は7名で、このうち3名が居場所の登録につながった。
- 足立区外から3名の参加あり
- 既存の居場所登録者の方も、居場所イベントとして参加してくれている。
- 新規の方と既存の居場所登録者の方とで、会話などの交流が生まれている。
- プチイベントでは、他己紹介など他人と話しやすくなる企画を実施



(3)メタバースを活用したオンライン居場所の開始について

スマホやパソコンがあれば、どこからでも・誰でも無料で参加できる「オンライン居場所」を、毎月第1・3火曜日(午後1時から午後4時まで)に開設した。

利用にあたって事前の申込みが必要であるが、申込み後は、事前の連絡・予約不要で利用できる。

イメージ

Welcome!

入室すると、画面の左上に、ご自身のアイコン(動物のイラスト)と「利用者名」が表示されます。スタッフがお声掛けしますので、そのままお待ちください。

●個室「さくら」
クローズドな空間で相談やお話ができます。鍵もかけられます。



●「たぬき広場」
●「かば広場」
スタッフの声掛けで、ゲームをしたり、居合わせた人とおしゃべりが楽しめます。

稼働後の状況

- 7月15日(火)から開始し
- これまで3回開催し、延べ4名が参加(本人3、家族1)
- 新規申込者は7名(本人3、家族3、関係者1)
- 同時間帯最大6名・1日12名程度利用可能
- 匿名で、顔を出さず、声も出さなくて OK
- セキュリティのため、事前申込み制とし、運用中はスタッフが3名常駐
- 既存の居場所登録者の方もお手伝い(ピアサポート)として数名が参加予定
- 個別でのお話を希望される方は、鍵をかけられる個室で個別対応が可能



4 議事事項

(1) ひきこもりに関する各種調査について

平成31年度(令和元年度)以来となる、ひきこもりに係る実態調査を行う。

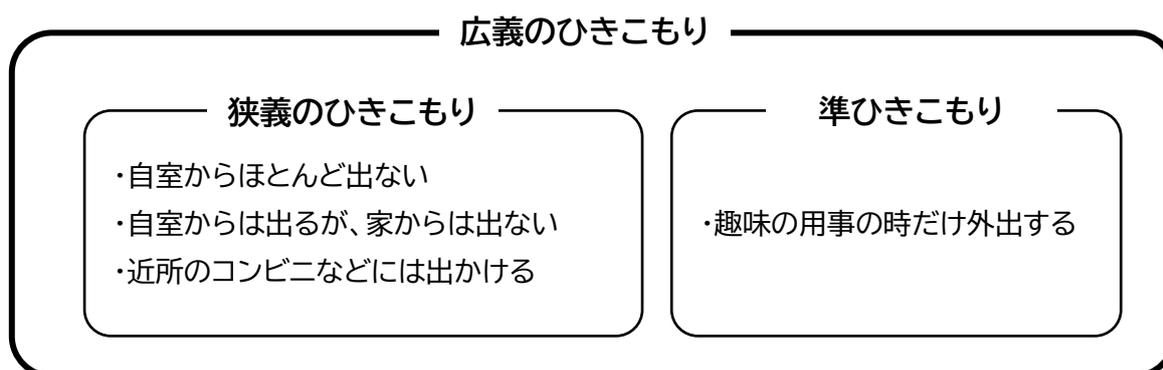
前回実施した推計調査に加えて、新たに当事者調査と事業者調査の3つの調査を実施し、最新の傾向と詳細な支援ニーズを把握し、今後のひきこもり支援施策に活かしていく。

① 推計調査

ア) 主な目的

コロナ禍を経た変化や、年代層、狭義のひきこもり・準ひきこもり・広義のひきこもりの推移等、最新の傾向を把握する。

<参考 R 4 内閣府調査におけるひきこもり状態の定義>



イ) 実施方法 (前回とほぼ同様)

- 区内在住の15歳以上(中学生を除く)から64歳以下の男女を対象
- 対象: 5,000人(区内を15程度のエリアで分けて無作為抽出)
→ 前回調査では3,500人
- 調査票を郵送し、回答内容を分析しひきこもり者数の推計や実態を把握
- 調査票は前回時のものをベースに部会で内容を精査し協議会決定
- 回答方法は、郵送またはオンライン

ウ) スケジュール

令和7年10月まで	調査票調整・発送準備
11月ごろ	調査票発送(返送切は12月)
令和8年2月	集計・分析
3月	報告書など納品

エ) 調査票検討のポイント

	項目等	今回調査での考え方【案】
①	前回の足立区調査(H31)	内閣府調査(H30)の内容に準拠
②	直近の内閣府調査(R4)	前回調査(H30)から大幅に内容変更
③	今回の足立区調査(R7)	直近の内閣府調査を参考としつつも、今後につながる内容となるよう検討
④	調査タイトル	「足立区生活状況・意識に関するアンケート調査」
⑤	前回は衛生部調査を参考とした独自の設問があった	今回案では削除した

<参考> 前回足立区調査やR4内閣府調査におけるひきこもりに該当する条件（概要）

- 1 「ふだんどのくらい外出しますか」の設問（別紙1：Q24）で、

5 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する 6 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける 7 自室からは出るが、家からは出ない 8 自室からほとんど出ない

のいずれかに回答した方で、かつ、

- 2 「現在の状態となってどのくらい経ちますか」の設問（別紙1 Q25）で、
6か月以上の選択肢で回答した方から、

- 3 次の3類型のいずれにも該当しない方

① 「現在の状態になった理由は何ですか」の設問(別紙1Q27-1)で身体的病気を記述 ②-1 「現在の状態になった理由は何ですか」の設問(別紙1Q27-1)で、 「妊娠した」、「介護・看護を担うことになった」を選択か「出産・育児」の旨を記入 ②-2 「あなたの現在のお仕事について教えてください」の設問(別紙1Q10)で、 「専業主婦・主夫」、「家事手伝い」を選択 ②-3 「ふだんご自宅にいるときに、よくしていること」の設問(別紙1Q11)で、 「家事をする」、「育児をする」又は「介護・看護をする」を選択 ⇒②-1～3のいずれかで、「最近6か月以内に家族以外の人と会話をしましたか」 (別紙1Q28)で、「よく会話した」又は「ときどき会話した」を選択した方 ③ 各種設問の中で、「仕事をしている」、「就業している」、「自営業・自由業」、「家族従事者・内職」など、何らかの仕事に就いている選択・記述がある方

詳細は別紙1参照

② ひきこもり本人・家族への調査

ア) 主な目的

ひきこもりの背景や期間、支援に望むこと、家族とのつながり等を、本人・家族の年代別に把握することで、世代に応じた支援メニューの検討につなげる。

イ) 実施方法

- セーフティネットあだち等で現在支援につながっている（または過去に支援につながっていた）ひきこもり本人またはその家族を対象
- 想定対象：159名（令和7年7月11日現在）
 - （内訳） 本人：44名
 - 家族：92名
 - その他：23名（令和6年4月以降利用がない方）
- 調査票を直接配布または郵送し、回答内容を分析し、実態を把握
- 回答方法は、郵送またはオンライン

ウ) スケジュール

無作為抽出調査と同様

エ) 調査票検討のポイント

今回調査での考え方【案】		
①	調査項目	今回の推計調査に準拠しつつ、より具体的なニーズを把握するための設問を追加する
②	調査タイトル	ひきこもりに関するアンケート調査
③	注意事項	ニーズを詳細に把握するため具体的な質問内容を作成する一方、ご本人の負担にならないよう配慮する

詳細は別紙2参照

ひきこもり本人・家族への調査概要(案)

No.	質問概要	回答方法	推計調査	備考
Q1	本人の性別	選択肢 (1つ)	○	
Q2	本人の年齢	選択肢 (1つ)	○	
Q3	同居の家族等の続柄	選択肢 (複数)	○	
Q4	世帯の主たる生計者	選択肢 (1つ)	○	
Q5	家の暮らし向き	選択肢 (1つ)	○	
Q6	本人の最終学歴	選択肢 (1つ)	○	
Q7	本人の不登校等の経験の有無	選択肢 (複数)	○	
Q8	本人不登校のきっかけ	選択肢 (複数)	○	Q7 の該当者のみ回答
Q9	本人の就労経験状況	選択肢 (複数)	○	
Q10	本人の現在の就労・就学状況	選択肢 (複数)	○	
Q11	本人が自宅で普段していること	選択肢 (複数)	○	
Q12	本人が普段利用する通信手段	選択肢 (複数)	○	
Q13	本人の普段の楽しみ・やりがい	選択肢 (複数)		※板橋区当事者調査参照
Q14	本人の不安・危機感	選択肢 (複数)		※板橋区当事者調査参照
Q15	最近6か月以内の家族以外との会話頻度	選択肢 (1つ)	○	
Q16	本人の現在の外出状況	選択肢 (1つ)	○	ひきこもりの分類
Q17	ひきこもり状態になった年齢	選択肢 (1つ)	○	
Q18	ひきこもり状態になったきっかけ	選択肢 (複数)	○	
Q19	ひきこもり状態になってからの期間	選択肢 (1つ)	○	
Q20	どのように接してほしいか	選択肢 (1つ)		※事務局提案
Q21	状態が変わったきっかけ	選択肢 (複数)	○	
Q22	相談したことがある関係機関	選択肢 (複数)	○	
Q23	セーフティネットあだちの利用歴	選択肢 (1つ)		※事務局提案
Q24	セーフティネットあだち利用の情報入手経路	選択肢 (複数)		※事務局提案
Q25	相談したいと思う関係機関の条件	選択肢 (複数)	○	
Q26	本人が現在必要だと感じていること	選択肢 (複数)	○	
Q27	区の支援情報の入手経路	選択肢 (複数)	○	※事務局提案
Q28	足立区の支援への意見	記述	○	
Q29	接し方で望ましくないと思っていること	記述	○	※事務局提案
Q30	一歩踏み出すきっかけがあればいいと思っていること	記述	○	※事務局提案

③ 関連事業者への調査

ア) 主な目的

介護関係事業者が業務において、ひきこもり当事者と関わる機会がどの程度あり、現場での困りごとや、当事者が支援につながっていない実態（特に 8050 世帯）などについて調査する。

イ) 実施方法

■ 区内の介護関係事業者を対象として実施

- ・ 地域包括支援センター：25 か所
- ・ 居宅介護支援事業所：197 か所
- ・ 訪問看護ステーション：92 か所
- ・ 訪問介護ステーション：217 か所

※数字はR7.6月末時点

■ 対象：531 か所程度

■ 調査票をメールで送付し、回答内容を分析し、実態を把握

■ 回答方法はメールまたはオンラインで、事業者単位で依頼する

ウ) スケジュール

無作為抽出調査と同様

詳細は別紙3参照

関連事業者調査概要(案)

No.	質問概要	回答方法
Q1	事業所の業態	選択肢（1つ）
Q2	事業所の職員数	記述
Q3	ひきこもりの方との関わりの有無	選択肢（1つ）
Q4	Q3で該当するひきこもり本人の人数・年代・性別	記述
Q5	ひきこもりの方と関わるきっかけ	選択肢（複数）
Q6	ひきこもりの方への対応（現状）	選択肢（複数）
Q7	ひきこもりの方への対応で難しいと感じる事	選択肢（複数）
Q8	ひきこもりの方と関わった事例	記述
Q9	セーフティネットあだちについて	選択肢（1つ）
Q10	セーフティネットあだちとどう関わりたいか	選択肢（1つ）
Q11	足立ひきこもり家族会について	選択肢（1つ）
Q12	足立ひきこもり家族会とどう関わりたいか	選択肢（1つ）
Q13	福祉まるごと相談課について	選択肢（1つ）
Q14	どのような内容のセミナーなら参加したいか	選択肢（複数）
Q15	足立区への意見	記述

(2)令和7年度ひきこもりの理解と支援のためのセミナーについて

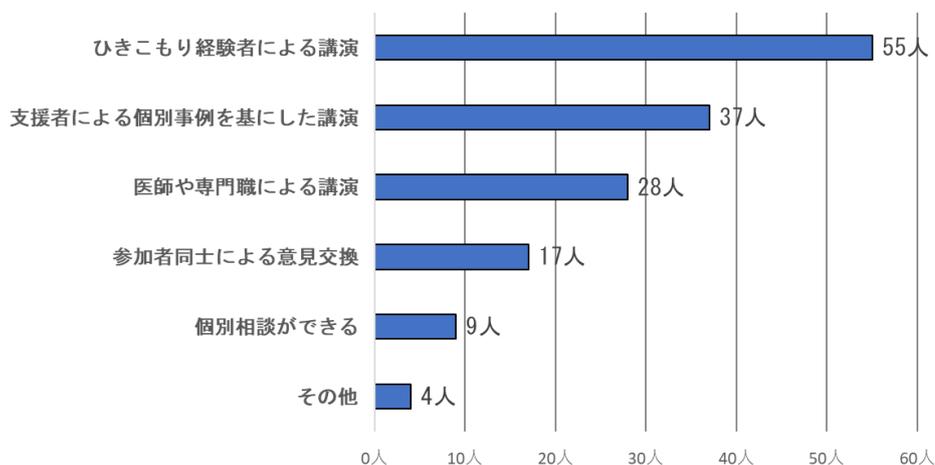
日 時	令和7年11月16日（日） 午後2時から午後4時まで
会 場	すこやかプラザ あだち3階 大研修室 （定員200名） （足立区江北5-14-5）
内 容	未定（検討中）
主な対象	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域福祉（高齢、障がい、生活困窮等）の分野で活動している方 ■ ひきこもり本人やそのご家族

【参考 令和6年度ひきこもりの理解と支援のためのセミナー】

日 時：令和7年2月9日（日）午後2時から午後4時まで
 会 場：こども支援センターげんき5階 研修室3 （定員100名）
 内 容：① 特別講演（講師：半村進氏【ひきこもり経験者で現在は支援者】）
 ② トークセッション（講師・家族会会員・支援機関職員等5名）
 ③ 個別相談会（セミナー終了後に実施・相談11件）
 参加者数：87名
 動画配信：225回再生（令和7年7月11日現在）

※令和6年度セミナー実施時のアンケート結果から抜粋

■今後参加したいと思うセミナー内容(複数回答可)



5 今後のスケジュール・事務連絡

年	月	事業内容
令和7年	4	<ul style="list-style-type: none"> ■ セーフティネットあだち 学びピア 21・7階で移転オープン ■ ひきこもり支援リーフレット配布開始
	5	13日(火) 居場所「フリースペースの日」開始(月2回)
	6	<ul style="list-style-type: none"> ■ ひきこもりに関する調査 委託事業者決定(株式会社キズキ) ■ メタバース居場所試験運用開始(現利用者や区職員でテスト運用)
	7	15日(火) メタバースを活用した居場所支援開始(月2回・各3時間) 17日(木) 第1回部会
	8	第2回部会(書面開催) 29日(金) 第1回協議会
	9	15日(月祝) 足立ひきこもり家族会 特別講演(会場: 学びピア 21) 18日(木) 第3回部会
	10	第2回協議会(書面開催) ひきこもり調査開始
	11	16日(日) ひきこもり支援セミナー(会場: すこやかプラザ あだち)
	12	ひきこもり調査票回収→集計・分析(2月まで)
令和8年	1	第4回部会
	2	25日(水) 第3回協議会
	3	ひきこもり調査報告書完成

ひきこもり調査
内容の検討、決定

【次回日程】

- 第2回足立区ひきこもり支援協議会(書面開催)
日時: 令和7年10月上旬
- 第3回足立区ひきこもり支援協議会
日時: 令和8年2月25日(水) 午後6時30分～午後8時
会場: 調整中(特別会議室が改修工事により使用できないため)

参考①

セーフティネットあだち 令和7年4月～7月の実績

1 相談件数(延べ件数)

累計

		電話			来所			メール			訪問			計
		男	女	他	男	女	他	男	女	他	男	女	他	
新規	本人	1	2	0	3	3	0	0	0	1	0	0	0	10
	保護者	2	8	0	1	2	0	0	3	0	1	0	0	17
	その他	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	行政機関	3	7	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	12
	小計	7	25	0	5	6	0	0	3	1	1	0	0	48
継続	本人	10	11	0	12	2	0	3	0	4	13	1	0	56
	保護者	6	20	0	5	12	0	1	7	0	0	0	0	51
	その他	5	15	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	23
	行政機関	14	15	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	34
	小計	35	61	0	22	17	0	4	7	4	13	1	0	164
合計		42	86	0	27	23	0	4	10	5	14	1	0	212

2 相談者別延べ件数

本人	保護者	兄弟姉妹	親戚	行政機関	民間機関	友人	その他	計
66	68	3	0	46	29	0	0	212

3 実相談人数累計(年代別・性別)

累計

	男	女	他	実人数
10代	2	5	0	7
20代	8	18	0	26
30代	6	7	0	13
40代	7	9	0	16
50代以上	8	6	0	14
不明	5	17	1	23
計	36	62	1	99

4 相談内容分類

生活習慣・ 環境改善	就労	進学/通学	社会性 向上	関係機関 への連携	情報共有	その他
74	31	2	19	3	30	53

5 居場所利用者数(延べ人数)

居場所利用登録:32名

	4月			5月			6月			7月		
	男	女	他	男	女	他	男	女	他	男	女	他
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	13	11	0	11	11	0	8	8	0	9	11	0
30代	18	4	0	22	4	0	22	3	0	27	4	0
40代	12	0	0	12	0	0	10	0	0	11	0	0
50代以上	7	0	0	11	0	0	13	0	0	11	0	0
計	50	15	0	56	15	0	53	11	0	58	15	0

	8月			9月			10月			11月		
	男	女	他	男	女	他	男	女	他	男	女	他
10代												
20代												
30代												
40代												
50代以上												
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	12月			1月			2月			3月			計
	男	女	他	男	女	他	男	女	他	男	女	他	
10代													0
20代													82
30代													104
40代													45
50代以上													42
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	273

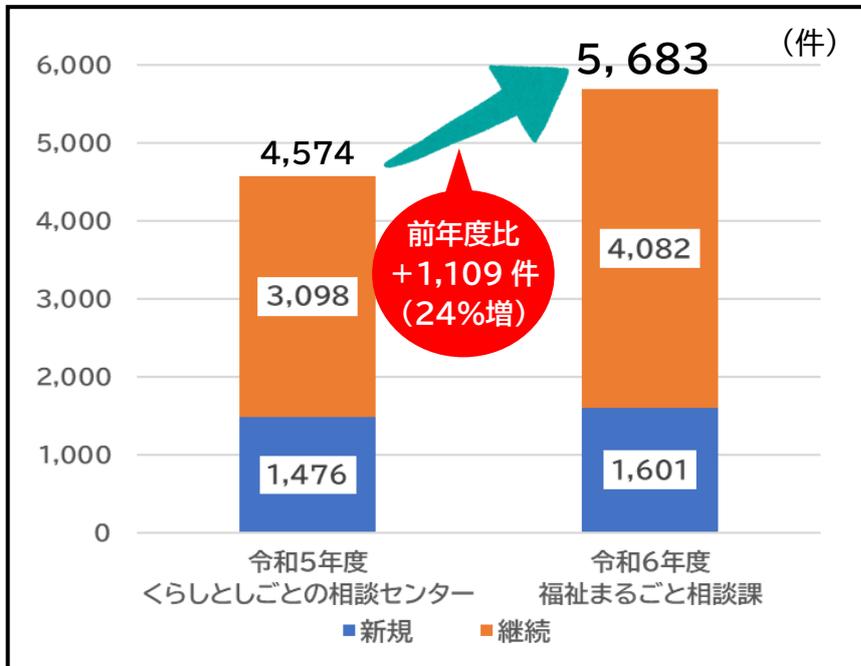
◆居場所事業として、月1回イベントを実施している。

- 4月:春のお散歩イベント 5名参加
- 5月:映画観賞会 6名参加
- 女子会(映画鑑賞会) 2名参加
- 6月:モルック大会・イベント企画 4名参加
- 7月:ボードゲーム(人生ゲーム) 4名参加

参考②

包括的相談(まるごと相談):令和6年度実績

1 令和6年度の延べ相談件数



令和6年度
アウトリーチ実績

延べ261件

福祉まるごと相談課
による訪問*

福祉まるごと相談課と
支援機関による訪問*

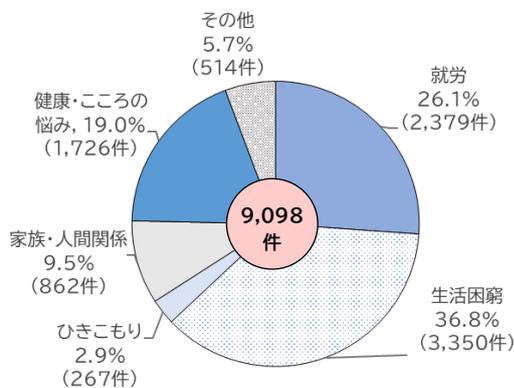
※ ご自宅のほか相談者が
希望する場所へ伺う。

2 令和6年度 “まるごと相談” から見えた傾向

- (1) 複数の困りごとを抱える相談が増えている。
- (2) 相談内容別延べ件数：令和5年度との比較で 1.35 倍 (35%増)
- (3) 特に“生活困窮”と“家族・人間関係”が絡んだ複合的な相談が多く見受けられた。

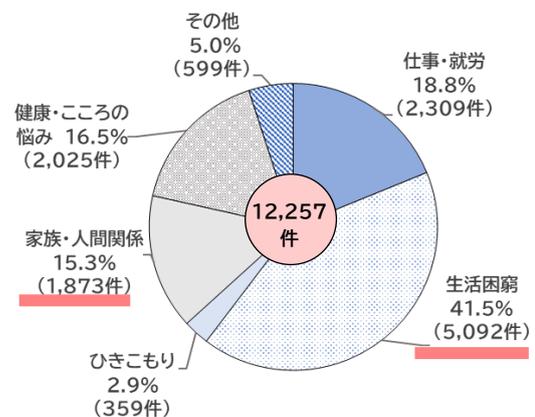
【令和5年度】

(平均: 1 相談あたり 1.98 件)



【令和6年度】

(平均: 1 相談あたり 2.15 件)



■ 家族・人間関係での相談例

家族間での支援はできないと言われてしまった、家族と音信不通・絶縁状態
親やきょうだいからの暴言・関係悪化により家族と離れて暮らしたい 等

参考③

前回(令和元年11月)推計調査概要

対象	区内在住の15歳以上(中学生を除く)～64歳以下の男女(無作為抽出)
調査数	3,500人
調査方法・回答	調査票を郵送 → 郵送返信
回答数(回答率)	1,671人(回答率47.7%)

調査結果

質問：普段どのくらい外出しますか？	該当人数 (人)	回答に占める 割合(%)	推計人数 (人)※
趣味の用事の時だけ外出する	12	0.72	2,968
自室からほとんど出ない	1	0.06	247
自室からは出るが、家からは出ない	0	0.00	0
近所のコンビニなどには出かける	13	0.78	3,215
計	26	1.56	6,430

※ 推計人数は、調査時点における15歳～64歳の区の人口に、回答に占める割合1.56%を掛けたもの

《MEMO》